# No. 2006.12 DEC



# 巻頭言

# 幹事長 小林 裕幸

ディズニー・アニメーションのオリジ ナル画が工学部で発見され、昨年暮 れに多くのマスコミが「40年ぶりに千 葉大学工学部で発見された・・ | と報 じました。すでに工学同窓会報でご 報告していますが、1963年、源田秀三 郎先生のご尽力で、東京国立近代美 術館から移管されたものです。そして 旭洋一先生、杉浦恪也先生、池田卓 先生らが大切に保管してこられました。 このオリジナル画200点に、ロスアンゼ ルスのウォルト・ディズニー社アニメーショ ン・リサーチ・ライブラリー(ARL)所蔵 の門外不出と言われていたオリジナル 画350点を加えた「ディズニー・アート展 |

が、史上最大のアニメー ション・アート展と銘打っ て東京都現代美術館で 開催されました。7月15日 から9月24日の期間中、 入場者は18万人を超え、 もう少しで現代美術館 の記録を塗り替えるほど

でした。工学部発見の「花と木」、「眠 れる森の美女」の多数の背景画や、 ARLからのウォード・キンボール、マーク・ デイヴィスといった伝説的アニメーター "The Nine Old Men"のオリジナル 原画など、展示内容のすばらしさがイ ンターネットなどでどんどん広まり、会



期が進むに連れて入場者数はうなぎ のぼりとなり、9月に入ってからは待ち 時間が1時間半を超えるほどでした。 このような歴史的展覧会を実現させ たことが、今回の千葉大学でのオリジ ナル画発見の最大の貢献だったので はないでしょうか。

# 画像工学同窓会第7回技術講演会のお知らせ

総会の前の時間に下記の技術講演会を開催します。今年度は、 今夏に行われたディズニー・アート展の模様を本学の小林裕幸 先生に報告して頂いた後に、写真家の阿部幹雄氏に講演をお願 いしました。是非、お誘い合わせの上、ご参加下さい。今年度 も PAGE 2007 の開催時に同じ場所にて講演会を開催すること にしました。機材展に参加と同時に技術講演会に参加頂けます ようご案内申し上げます。なお、ご参加の有無を同封の振込み 用紙にご記入の上ご送付下さい。

時:2007年2月8日(木)15:30~17:00 Ħ

所:サンシャインシティ文化会館704・705会議室 場

参加費:無料

●講演1「ディズニー・アート展報告 | 15:30~15:45

小林 裕幸 千葉大学工学部

●講演2「生と死のはざまで一写真の果たした役割」15:45~17:00 阿部 幹雄 写真家

PAGE2007の情報 http://www.jagat.or.jp/page/indexBKK.html

# 総会・懇親会のお知らせ

平成18年度の定時総会および懇親会を下記のように開催致します。 今回も昨年度と同様に多くの方に参加頂けるようPAGE2007の 開催と合わせて総会および懇親会を開催致します。是非、皆様お 誘い合わせの上、ご出席下さいますようご案内申し上げます。

開催日:2007年2月8日(木)

総 会: 17:00~17:30

場 所:サンシャインシティ文化会館706会議室 題:平成17年度事業報告、会計報告 議

平成18年度事業計画、予算案

懇 親 会: 17:30~19:30

場 所:サンシャインシティ文化会館704・705会議室

費: 7,000円 ※当日お支払いください。

※出席される方は、同封の振込み用紙の出欠欄にご記入の上、 1月19日(金)までに到着するようにお申込み下さい。

## ●サンシャインシティコンベンションセンターTOKYO

170-8630 東京都豊島区東池袋三丁目1番1号

交通:池袋駅東口から徒歩8分

東池袋駅(地下鉄有楽町線)2番出口から徒歩3分

http://www.sunshinecity.co.jp/information/access.html

大 学 便 り

# 学科の近況 情報画像工学科だより

学科長 小林裕幸記

#### ニュース

#### 学科教職員の動向

退官 小寺宏曄先生が平成18年3月31日に定年退官されました。平成8年に着任され、ほぼ10年、色彩工学、ディジタル画像処理の教育研究にあたられました。多くの人材を育て世に送り出すともに、研究においてもりっぱな業績を残されました。先生は現在、技術コンサルタントの会社を作られ、まだまだ現役でご活躍です。

転出 光電子分光法によるご研究で活躍されていきました日野照純先生が、今年度より 愛媛大学へ教授として転出されました。

新任 平成18年4月1日付けで溝上陽子助手が矢口先生の研究室に着任しました。先生は立命館大学で視覚情報処理の教育を受けられ、2002年に「照明認識視空間に基づく色認識の研究」で学位を得られています。その後ポスドクで、アメリカ・ネヴァダ大学で研究を続けてこられました。先生のご研究には、色の恒常性が働かない写真においても、写真内を実風景と同様に3次元空間として認識させれば、色の恒常性を向上させることができる、といった非常に興味あるものがあります。千葉大学でのバリバリのご活躍が期待されます。

新任 平成18年10月1日付けで、小寺先生 の後任教授として富永昌治先生が着任され

ました。ご専門は「物体表面特性の解析と応用」といった実験を重視したデジタル画像処理です。例えば、油絵のように光沢のある絵画の見えを再現するためには、分光反射率だけではなく、絵画表面の形状情報の取得も必要ですが、先生は任意環境で全方位に存在する光源の分光分布を獲得するシステムを開発し、希望の環境下でのその絵画を鑑賞できるCG画像を実現させました。先生は長年、大阪電気通信大学で教育研究に携われ、施設長、学部長、理事などの主要なポストを歴任されてきましたが、定年までの残された時間に教育研究でもう一つ大きな仕事をしたいということで千葉大学に来て下さいました。ありがたいことです。

#### 第一回学長杯争奪駅伝大会が開催

平成18年10月9日の体育の日に第一回学長 杯争奪駅伝大会が開催されました。18チームが参加し、情報画像工学科のチーム(斉 藤了一、加藤健太郎、宮川信一、久下謙一、 小林裕幸)は4位と健闘しました。

#### 改組

7年前に学科長だったときにこの欄に画像工学科が情報工学科と一緒になって情報画像工学科になりますと報告いたしました。今回は、情報画像工学科が平成20年度より画像科学科と情報画像学科という二つの学科になることを報告いたします。学科の名称か

らもおわかりのように、画像と情報に分かれるのではなく、画像が二分されます。画像科学科は教育に化学、物理、人間といった3本の柱を立てています。化学および物理は画像材料の教育をさします。人間はその画像を見る目、感性を育てる教育をさします。したがって、この学科にはいわゆる画像材料系の教員と画像解析・評価を専門とする教員が参加します。情報画像学科は画像というものに特色をもたせた情報工学の教育を行う学科です。情報系の教員といわゆる画像システム系の教員が参加します。

今回のもっと重い意味をもつのは学科改 組と同時に進行している大学院の改組です。 平成19年度より、自然科学研究科は工学研 究科、理学研究科、園芸学研究科、融合科 学研究科という4つの研究科になります。画 像科学科、情報画像学科の教員は融合科 学研究科情報科学専攻に属することになり ます。教員はこれまで工学部に所属していま したが、これからは大学院に所属すことにな ります。いわゆる部局化というやつで、業績は すべて大学院博士後期課程の定員を満た せるかどうかで判断されます。博士課程の 定員が増え、どの大学も定員確保に躍起です。 同窓生のみなさん、情報科学専攻に入学し、 ひとつドクターでも取ってみませんか。興味の ある方は遠慮なくご連絡下さい。

卒業生・修了生の就職先紹介

# Graduate

2006年3月に巣立った卒業生・修了生の就職先を紹介いたします。今後とも、諸先輩方の温かいご支援をお願いいたします。

情報画像工学科卒業生の進路

像科学専攻修士課程修了生の進路

NHK, NTTコムウェア, アイシン精機, 出光興産, オリンパス, カシオ計算機, キヤノンファインテック, キヤノン(3), 共同印刷, グローリー工業, コニカミノルタ(3), シャープ(2), セイコーエプソン(2), ソニー, 大日本印刷, 東芝テック, 東芝電子管デバイス, トッパン・フォームズ(3), 朋栄, 日本写真印刷, 日本たばこ産業, 日本電気, 日本ビクター, 富士写真フイルム(2), 富士ゼロックス, 古河電気工業, フルキャストテクノロジー, ベイキューブシー, 松下電工, マツダ, 三菱電機, 朝日広告社, 朝日新聞社, 精美堂, デルフィス, デンソー(2), 日立製作所, 日立ディスプレイズ(2), リコー(3), 志賀国際特許事務所, 第一興商, 千葉大学大学院自然科学研究科博士課程進学

研究室紹介

# 高原研究室

コンピュータのプロセッサやメモリの製造プロセスでは回路設計情報を転写するためにフォトレジストが大切な役割をしています。高原研究室ではフォトレジストをはじめとする光による微細加工用材料を構築するユニークな分子機能を探し、光機能材料の設計と評価をおこなっています。これによって、従来とは異なるメカニズムの光パターニングに挑戦しています。光反応を基礎とした次の4つの方向で研究を進めています。

# 1) 先進フォトリソグラフィ

次世代光微細加工技術をめざして、 単分子層上の光パターニング形成から の成長反応による超微細加工の限界を 超える試みとしてビルドアップリソグラフィ の研究をしています。単分子層の潜像 を表面開始重合反応によって育てるプロセスを検討中です。また、今後フォトリソグラフィの応用分野が拡大するにつれて必要とされる多機能光開始剤や、超高感度レジスト材料などに対応して組み込む増感系光開始剤などの研究を進めています。

図1 ビルドアップリソグラフィ[先進フォトリソグラフィ]



図2 銅超微粒子膜のレーザーパターニング [なんでも光パターニング]

# 2) なんでも光パターニング

微細加工には高分子材料を用いたレジストプロセスだけでなく、さまざまな周辺材料のパターニング技術も期待されます。 金属や無機物の前駆体などを直接光パターニングする試みをしています。金属超微粒子薄膜を形成し、直接レーザーによって融合させてパターンを形成させる研究を行なっています。

# 3) おもしろ反応機構

長期的には独自性の高い光反応材料の開発が必要です。学生さんの興味をそそるようなおもしろそうな反応機構にリスキーに取り組んでいます。ときどきリスキーすぎてどきどきするときがありますが、

大学ならではの研究を考えています。生体物質であるビリルビンの水素結合の 光異性化制御によるパターン形成や会 合現象を利用した光パターニングの試 みをしています。

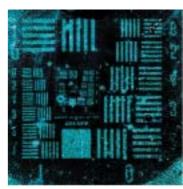
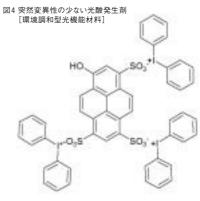


図3 生体物質ビリルビンでつくったパターン [おもしろ反応機構]

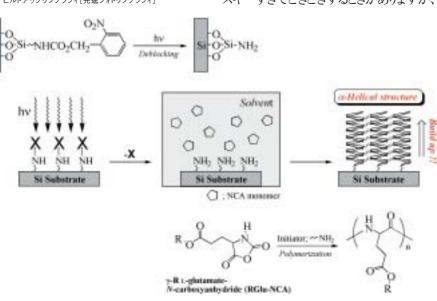
# 4) 環境調和光機能材料

環境調和型光開始剤や親生体性の 光機能材料など人体や地球環境と画 像形成の新しい領域を拓いています。 昨年、学会で発表した環境調和型光開 始剤は新聞紙上に掲載されました。



昨年度は2名の博士を産業界へ送り出し、現在はM2(3名)、M1(2名)と卒業研究生(5名)と大幅に若返りました。 8月まで朴技官が非常勤で在職していましたが、現在は、フォトポリマー懇話会や日本印刷学会誌などの事務局の仕事もこなす帰山秘書との12名の研究グループとなっています。

(takahara@faculty.chiba-u.jp)



# 本田研究室

# 光情報工学教育研究分野

この教育研究分野(以下研究室と呼ぶ)は、「画像工学」の中でカメラのレンズ部の作用である「結像」すなわち「光学 (Optics)」を専門とする先生方が引きついできた。しかし、その中での細かい専門分野はある程度異なっている。

まず私(本田)が知っている範囲でこれまでの教員の移動について述べ、その後現在の研究室の様子および研究テーマについて簡単に紹介する。この研究室は、工学部7号棟4階を主に使っている。私が赴任した頃は、工学部B棟と呼ばれていた。また工学部7号棟の2階の一部も実験室として使っている。

# 1) 現在までの教員の移動について

過去の何人かの先生は、東京大学を 定年後この分野に赴任していた。(当 時は、東大と東工大の定年は60才であり、 千葉大は今と同じ65才だった。)私が直 接知っている先生は小瀬輝次先生で、 東大・生産技術研究所(生研と略して 呼ばれることが多い)を定年退官後、こ の研究室で千葉大の定年まで、5年間 在籍した。小瀬先生は、結像理論が専 門であり、「フーリエ結像論」という書籍 を発行した。小瀬先生は1987年3月に 定年退官した。また光ホログラフィーの 研究もおこなっていた。

この時期に、岡田勝行先生が東工大の博士課程修了後、助手として赴任した。 その前から、佐藤雅子先生が在籍していた。佐藤先生は色認識を含む視覚光学・視覚認識が専門分野であった。

1987年4月に辻内順平先生が東京工業大学を定年退官後赴任した。辻内先生は光学全般をカバーしていた。「光学概論I,II」を出版している。またホログラフィーの応用にも強い関心をもっていた。辻内先生は1993年3月に千葉大



を定年退官した。

私は東工大で辻内先生の助手および助教授を勤めていた。辻内先生が千葉大を定年退官された年の4月から私が千葉大へ就任し、現在に至っている。1998年9月に岡田勝行先生が43才の若さで白血病で逝去した。

その後、佐藤雅子先生が2000年3月に定年退官した。その後任として、羽石秀昭先生が情報工学科の三宅研究室から2001年に研究室に赴任したが、新設されたフロンティアメディカル研究開発センターへ2003年に移動した。

その後、2003年8月に椎名達雄氏が 和歌山大学から赴任し、現在のこの研 究室の教員は本田と椎名の2名で運営 している。なお私(本田)は、2008年3月 に定年を迎える。

現在の研究室については、前述のように教員としては2名であり、今年度(2006年度)は大学院生(修士課程)が8名、学部卒研生が6名の全体で16名である。

以下に現在実施している研究テーマそれぞれについて、簡単に紹介する。

# 2) 現在進めている研究課題について

立体映像表示関連

・ホームシアター用大画面立体表示ディス プレイシステムの開発

立体視メガネを装着せずに50インチ以上 のスクリーンで大画面立体映像を観察で きるシステムの開発をおこなっている。

・ビデオガイド立体映像表示システムの開発 内視鏡手術などのビデオガイド作業をより 正確に迅速におこなうための立体映像表 示システムの開発である。立体視メガネを 装着せずに観察者(作業者)が観察位 置を変えると、観察される立体映像も同時 に変化させることにより、実物を直接みる 状況に近づけることを目指している。

## 画像計測関連

# ・顔顎部3次元形状計測装置の開発

直線状明暗格子パターンを顔に瞬間的に投影することで顔顎部の3次元計測を行える装置を開発している。形状計測用にデジタルカメラ3台を利用し、キャリブレーションを行うことで±0.5mmの精度顔顎部の3次元形状を計測することを目指している。顔の分類、顔認識、フェイシャルアバターの実現を応用としている。

# 光波計測関連

# ・投影型軟X線ナノCT顕微鏡の開発

つくばの高速加速器研究機構にある Photon Factory施設内の軟X線を光源とした、生体細胞観察のためのナノメートルオーダーの分解能を持つ軟X線CT 顕微鏡を開発している。投影型を採用しているために視野が広く、試料へのズーミングが可能であることが特徴である。

・防災用インライン型ライダーシステムの開発 集中豪雨や落雷の予測を目的としたライ ダー(レーザレーダ)システムを開発して いる。送受信に共通の光学系を利用す るインライン型を採用することで天頂方向 を含む低空の雲を観察でき、かつ氷晶と

# 大 学 便 り

雲滴との識別が可能である。

# ・植物計測用OCT(低コヒーレンス干渉光 断層画像化法)システムの開発

生育生態環境の変化に伴う植物の内部変化を捉えるべく、植物の表層組織を非破壊に計測するOCT (Optical Coherence Tomography)システムを開発している。植物計測に特化した本システムを用いて、傷の修復過程や接木のモニタリ

ングを行っている。

# ・ランダム媒質中での光の機能的伝搬手 法の確立

高濃度散乱体(ランダム媒質)中を伝搬する光の散乱過程を把握制御し、高効率で長深度伝搬を可能とする"機能的な" 伝搬手法の確立を目指している。入射させるビームの波面、偏光ならびに時間応答を制御し、散乱媒質の性質(濃度、散 乱粒子径等)に合せた伝搬手法を見出 すことを目的としている。

## ・レーザー干渉による精密計測

レーザーを用いる干渉計測法により、非 球面光学部品形状や収差の高精度計 測をおこなってきた。しかしこの2年程は、 このテーマをやりたいという卒研生がお らず、研究としては停止しているが、調 香は続けている。

# 研究室紹介

# 大川研究室

当研究室は、銀塩写真材料と、これに関連する材料科学に関する研究を行っていた、大野研究室を源流としています。2004年3月に大野先生がご退官された後も、引き続き、大川助教授と柴助手が研究室の運営に当たっていおり、今年度は修士5名、学部4年生5名が所属しています。現在、これまで培った、銀塩写真システムに関する、幅広い分野の基礎科学に立脚した知見を、他の応用分野に展開することを目指して、研究を行っています。主な研究テーマは以下の通りです。

# 1) ゼラチンおよび関連物質の物理化学

従来の、銀塩写真システムにおける、 ハロゲン化銀の保護コロイドやバインダー としての研究から、近年では、食用、生 体適合性や環境親和性に着目した、よ り広い観点に立って研究を進めている。 特に、カラギーナンなど、他の高分子と のブレンドの物性やゲル化挙動、ゲル 構造の解析を通して、ゼラチンの新た な可能性を探究している。

# 2) 電気化学を用いた化学計測

電気化学手法を用いた、画像システ

ムに関与する反応解析や、化学センサーの開発を行っている。 最近は、酵素とナノ粒子の自己 集合複合体に着目し、新しいバイオセンサーシステムの構築を目指した、基礎的研究を行っている。

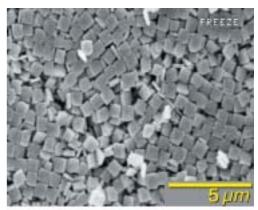
# 3) 機能性微粒子の合成と応用

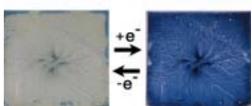
エレクトロクロミック材料をは じめとする機能性材料をターゲットとして、単分散微粒子やナノ 粒子の新規合成方法の開発や、 得られた微粒子材料の画像デ バイスへの応用に関する研究 を行っている。図は、本研究室 で合成した、酸化タングステン

一水和物の平板状単分散粒子の走 査電子顕微鏡写真と、電極に固定した 粒子のエレクトロクロミズムの様子である。

# 4) 新しい画像表示デバイスの開発

微粒子を内包する着色油滴をゼラチンで固定化した、新規な構造を有する電気泳動表示デバイスの基礎的研究を行っている。これは、カラーフィルムにおいて、カプラー/色素が溶解した油滴が、ゼラチン相に分散されている





本研究室で合成した単分散WO3・H2O粒子と、そのエレクトロクロミズム

のと類似構造であり、ゼラチンがそのまま粒子泳動の単位セル隔壁として機能するため、簡便な製造プロセスによる低コスト化が期待される。

# 5) 画像保存に関する研究

東京都写真美術館に勤務する卒業 生と共同で、古典印画法を含む写真画 像の、劣化要因の解明と、それに基づ く保存方法の検討に関する研究を行っ ている。 大 学 便 り

# ▶第2回 情報画像産学技術交流会のご案内



情報画像工学科の研究成果を広く社会に公開すると同時に産業界からの社会的要望などに関する意見交換を行う場を設け産学の交流を図ることを目的とした産学技術交流会を開催します。

今回が第2回目の開催で、画像工学同窓会の協賛を得て開催します。 多数の皆様のご参加をお待ち申し上げます。



第1回 情報画像産学技術交流会

日時:2006年12月19日(火) 午後1時から 場所:千葉大学けやき会館 参加費:無料

# プログラム

- ●共同研究事例報告
- ●各教育研究分野の最近の 研究成果をポスターで紹介
- ●大学の研究成果と 企業からのニーズ

参加申込みなど詳細は 情報画像工学科ホームページ (http://www.tj.chiba-u.jp) をご覧ください。









# ▶小寺研究室OB会

本年2006年3月で小寺宏曄先生が 定年退職されました。最終講義および 記念パーティの模様は工学部同窓会報 で堀内隆彦先生から詳しく報告されて いますので皆様ご承知のことと思います。 その後5月27日(土)夕刻に銀座PPサロ ンにおいて、研究室のOB会が2002年卒 業の安岡秀一君と和田幸恵さんの幹事 で行われました。当日は小寺先生ご夫妻、 堀内隆彦先生ご夫妻、卒業生23名(鈴 木三規君は奥さんを同伴)、在校生12名、 が揃い、小寺先生の近況報告をお聞き してから会が始まりました。卒業生は最 年長でも30歳台前半と若く、各年代間 での交流も日頃からあり、和気藹々と楽 しく会は進行し、3時間があっという間に



過ぎた印象です。終了後も2次会、3次 会へと、人数が減りながら朝までのカラ

オケには筆者も含めて7人が残りました。 斎藤了一記

#### 同窓会からのお知らせ

# ■2005年度(平成17年度)事業報告

1.2005年7月16日(金)

関西支部総会・懇親会:東洋ホテル(大阪)

2. 2005年7月25日(月)

幹事会:千葉大学

3.2005年12月~1月

会報第8号の発行

4. 2006年2月2日(木)

第9回定時総会·懇親会:PAGE2006会場内

5.2006年2月2日(木)

第6回技術講演会:PAGE2006会場内

講演者:長倉洋海氏

6.2006年3月23日(木)

卒業生を励ます会:千葉大学内大学会館

# ■2006年度(平成18年度)事業計画

1.2006年4月

画像工学同窓会ホームページ開設

2. 2006年7月22日(土)

関西支部総会・懇親会:キエフ(京都)

3.2006年9月14日(木)

幹事会:千葉大学

4.2006年11月

会報第9号の発行

5. 2006年12月19日(火)

産学技術交流会:千葉大学内けやき会館

6. 2007年2月8日(木)

第10回定時総会·懇親会:PAGE2007会場内

7. 2007年2月8日(木)

第7回技術講演会:PAGE2007会場内

8. 2007年3月23日(水)

卒業生を励ます会:千葉大学内大学会館

9.2007年3月

ホームページを利用した会員からの情報収集システムの構築

# ■画像工学同窓会 2005年度(平成17年)度会計報告案

平成17年4月1日~平成18年3月31日

#### ●収入の部

内	訳	予 算	決算	差額
前	年度繰越金	8,693,239	8,693,239	0
総	会会費	170,000	560,000	390,000
年	会費•寄付	1,000,000	1,100,240	100,240
I:	学部同窓会より活動費	95,000	98,600	3,600
利	息	800	1,121	321
小	計	1,265,800	1,759,961	494,161
合	計	9,959,039	10,453,200	494,161

#### ●支出の部

内 訳	予算	決 算	差額
委員会費	70,000	19,923	△50,077
新卒者を励ます会	170,000	226,500	56,500
総会経費	300,000	664,045	364,045
通信費	650,000	578,959	△71,041
会誌編集発行費	350,000	300,111	△49,889
活動費	100,000	0	△100,000
支部活動推進費	100,000	100,000	0
雑費	10,000	1,636	△8,364
慶弔費	30,000	0	△30,000
小 計	1,780,000	1,891,174	111,174
次年度繰越金	8,179,039	8,562,026	382,987
合 計	9,959,039	10,453,200	494,161

# ●次年度繰越金(平成17年度残高)内訳

合 計	8,562,026
現金	336,354
郵便振替	1,061,010
普通預金(千葉銀行)	160,662
定期預金(千葉銀行)	7,004,000

# from Editor

# …編集担当から

## 「会員便り」の原稿募集

「千葉大学・画像工学同窓会会報」は9号となりました。次号も来年、次回の総会約1ヶ月前に発行予定です。本会報では次号の発行に向けて、皆様からの原稿を募集しております。会員の皆様の同期会や近況報告、職場での集まりなどの様子を誌面の許す限り掲載していきたいと思っております。下記宛先まで、お名前、卒業年をご明記の上、お送りください。多数のご投稿お待ちしております。なお、お送りいただいた原稿・写真等は返却できませんので、予めご了承ください。また、掲載につきましては、編集担当にご一任くださいますようお願い申しあげます。

#### 千葉大学画像工学同窓会

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学工学部情報画像工学科内

☑ shiba@faculty.chiba-u.jp 編集担当:柴

## ▶ 画像工学同窓会ホームページ

http://www.gazo-dosokai.jp/

# 2006年2月に

# 画像工学同窓会のホームページをニューアルしました

2006年2月に画像工学同窓会のホームページをニューアルし、4 月以降に本格的なリニューアル 作業を進めてまいりました。現在 は同窓会から同窓生への情報 発信を中心に行っておりますが、 今年度はさらに同窓生からの情 報の収集と、その活用を検討し ております。ぜひ上記のホームペー ジを覗いてみてください。(小関)



## 同窓会からのお知らせ

#### 平成17年度に、下記の皆様よりご寄付を戴きました。厚く御礼申し上げます。

#### 【10口】

·永谷宗次(昭和22)

#### [9日]

·前原東二(昭和50)·今井淳一(平成3)

# [5口]

·井下広(昭和15)·廣瀬昌三(昭和26)·山本芳正(昭和31) ·正田章(昭和39)·原田澂(昭和40)·星野和夫(昭和47) ·沖元麻希子(平成9)

# 【4口】

·水野隆治(昭和23)·野村蔚(昭和26)·岩瀬一美(昭和32) ·青山俶雄(昭和36)·岩田克彦(昭和36)·諏訪孝昭(昭和42) ·井上博之(昭和48)·山村隆(昭和51)·小林克彦(昭和55) ·鈴木英夫(昭和58)·村田靖彦(平成9)·矢野圭介(平成14) ·水澤伸也(旧教職員)·辻内順平(旧教職員)

#### [3日]

·齋藤駿一郎(昭和29)·山司康雄(昭和29)·三位信夫(昭和33) ·横山喬(昭和40)·戸田文夫(昭和41)·樋口武(昭和42) ·金子茂(昭和47)·高瀬喜久(昭和47)·山田旬(昭和47) ·平賀祐二(昭和55)·横手俊倫(平成15)·尾崎隼一郎(平成17)

·佐山享璽(昭和20)·江越壽雄(昭和22)·蛭海進(昭和22) ·児玉庄晤(昭和22)·鈴木元治(昭和22)·山根節雄(昭和23) · 奥 貫 信 (昭和24)· 亀 岡 勇 (昭和25)· 川 又 健 一 (昭和25) ·飯田均(昭和25)·久保走一(昭和26)·関根慶治郎(昭和26) ·大久保周(昭和29)·北村維敏(昭和29)·三村俊二(昭和30) ·鈴木章方(昭和32)·奥田卓巳(昭和32)·勝田禎治(昭和33) ·高嶋宏昌(昭和33)·味岡義久(昭和34)·小野正和(昭和34) ·熱田利一(昭和35)·冨井勝夫(昭和35)·高橋通彦(昭和37) ・池田カツヤ(昭和37)・河野功(昭和37)・日比野繁雄(昭和39) ·沼野博文(昭和39)·大野隆司(昭和40)·山崎孝(昭和41) ·猪尾澄男(昭和42)·斉藤光範(昭和42)·半田隆治(昭和42) ·佐々木勝(昭和42)·柳川明夫(昭和42)·小田洋三(昭和43) ·富山昌史(昭和44)·橋本清治(昭和44)·斉藤延夫(昭和45) ·矢口浩(昭和45)·阿部敬一(昭和45)·佐々木孝(昭和46) ·池田正雄(昭和48)·和久田実(昭和48)·山田秀夫(昭和48) ·加藤信行(昭和49)·原好知(昭和49)·足立純一(昭和50) ·山本真理(昭和50)·今井力(昭和50)·清水忠(昭和50) ・芝木儀夫(昭和54)・岡松暁夫(昭和55)・岡本実(昭和56) ·浅井禎和(昭和57)·中村勝利(昭和60)·岩田耕平(昭和63) ・中村幹(平成2)・鈴木慎也(平成8)・宮脇修三(平成8) ·岸本靖彦(平成10)·荻原健比古(平成16)·広橋亮(旧教職員) · 久保宏子(旧教職員)

## 

·豊福潤也(昭和16)·土方英彦(昭和17)·倉田宏(昭和18) ·小島康男(昭和22)·宮本勇(昭和22)·保坂忠夫(昭和23) ·伊藤忠彦(昭和25)·岡田貢(昭和26)·清水丈夫(昭和26) ·須長祥浩(昭和26)·當間章雄(昭和26)·原誠(昭和26) ·安野惟夫(昭和26)·佐久間清(昭和26)·野本拓夫(昭和26) ·鈴木利男(昭和26)·大高進二(昭和29)·小松康世(昭和29) ・金子実(昭和29)・佐久間悌(昭和29)・竹原悟(昭和29) ·西島成一(昭和29)·鈴木洋(昭和30)·武田市太郎(昭和30) ·藤田亙(昭和30)·吉田勝郎(昭和30)·大越輝夫(昭和30) ・川野辺武男(昭和30)・當麻守彦(昭和30)・高宮敬二(昭和30) ・鈴木英(昭和30)・根本安規(昭和30)・笹田実(昭和30) ·熱田進(昭和31)·木下堯博(昭和31)·設楽清(昭和32) ·市来衡平(昭和32)·蛯原富司也(昭和32)·半沢敏雄(昭和32) ·木城茂雄(昭和33)·平本泰章(昭和33)·古矢泰一(昭和33) ・森貞介(昭和33)・会田源吾(昭和34)・高橋恭介(昭和34) ·山崎宏(昭和34)·深津和彦(昭和34)·伊藤尹一(昭和35) ·田中啓元(昭和35)·池田公一(昭和35)·柿崎謙介(昭和35) ·三浦祥司(昭和35)·内田浩二(昭和36)·田邉功(昭和36) ·相原康雄(昭和36)·西邦夫(昭和36)·勝村勇(昭和36)

・黒川静(昭和36)・田口英明(昭和36)・道城国生(昭和36) · 今井幹雄 (昭和37)· 橋本博 (昭和37)· 山崎留吉 (昭和37) · 亀岡正 (昭和37) · 三村一俊 (昭和38) · 川名諒一 (昭和38) ·三浦英徳(昭和39)·豊田芳州(昭和40)·原忠義(昭和40) ·菅原大作(昭和41)·吉岡達夫(昭和41)·神本喜之(昭和41) ·堀越仁(昭和41)·加藤秀雄(昭和42)·小坂敬臣(昭和42) ·白石\_朗(昭和42)·丸山良克(昭和42)·諸岡征之(昭和42) ·板倉昌孝(昭和42)·沖尚武(昭和42)·柏原克昭(昭和42) ·野中通敬(昭和42)·緑川洋行(昭和42)·山田敏雄(昭和42) ·石渡晨作(昭和43)·北原征哉(昭和43)·田口慎一(昭和43) ・土屋宜司(昭和43)・鈴木孝雄(昭和43)・伊東寛治(昭和43) ·青木隆男(昭和44)·佐野和雄(昭和44)·野口章(昭和44) ·照井與泰(昭和44)·牧孝(昭和44)·中島昭博(昭和44) · 村形修宏 (昭和44) · 田原直 (昭和45) · 中瀬真 (昭和46) ·春田昌宏(昭和46)·杉本彩二郎(昭和46)·原口米夫(昭和46) ・上野毅(昭和46)・石田浩男(昭和46)・安藤啓子(昭和47) ·寺沢賢一(昭和47)·鈴木明(昭和47)·内田敏夫(昭和48) ·定田明(昭和48)·鈴木進(昭和49)·相馬太郎(昭和49) ·野原正美(昭和50)·八角邦夫(昭和50)·田島貞男(昭和51) ・川口匡(昭和51)・下川原厚男(昭和51)・高柳尚義(昭和51) ・田林勲(昭和52)・中沢茂明(昭和52)・小田透(昭和53) ·小出哲司(昭和53)·山口弘(昭和53)·川島誠(昭和53) · 久保敬司(昭和54)· 岡村清孝(昭和54)· 渡辺幸保(昭和55) ·仙波季長(昭和55)·中村彰男(昭和55)·中村正樹(昭和55) ·井上充夫(昭和56)·末光裕治(昭和56)·安斉孝之(昭和56) ·鈴木敦(昭和56)·多田尚弘(昭和56)·若山裕康(昭和56) ·梨本一昭(昭和56)·中村博明(昭和57)·大澤郁夫(昭和57) ・佐藤樹(昭和57)・田村嘉廣(昭和57)・橘川千里(昭和58) ·菊井伸介(昭和59)·宮田弘幸(昭和59)·西川悟(昭和59) ·入谷真吾(昭和59)·長谷川隆史(昭和60)·大塚康信(昭和60) ·小倉正通(昭和61)·丸山美恵子(昭和62)·根本浩幸(昭和62) · 貞国元志 (昭和63)·佐々木光一 (昭和63)·大森雅久 (平成1) · 柿 倉 功 児 ( 平 成 1 ) · 北 川 原 淳 志 ( 平 成 2 ) · 李 岩 ( 平 成 2 ) ·喜多村淳(平成2)·大塚謙一(平成3)·浜田聡(平成3) ·小野雅行(平成3)·関谷建作(平成4)·徳留勉(平成4) ·石田知仁(平成5)·川添克朗(平成6)·日比野哲也(平成6) ·白浜三郎(平成6)·仙波昌忠(平成8)·西川宏明(平成8) ·星野孝(昭和9)·玉井奈津子(平成9)·宮本崇(平成9) ·山本浩二(平成9)·松永直之(平成9)·小林仁一(平成11) ·菅原勝彦(平成11)·横山龍介(平成12)·松島義昭(昭和13) ·渋谷岳人(平成13)·長野那岐(平成13)·渡辺浩幸(平成13) ・川崎敬(平成13)・丸井隆志(平成14)・和田一高(平成14) ·林慎太郎(平成15)·平澤雄輔(平成15)·三崎直昭(平成15) ·片倉宙(平成15)·森本太郎(平成15)·下岡亮介(平成16) ·本間和幸(平成16)·渡邉直孝(平成16)·田中浩之(平成17) ・松崎敬文(平成17)・柘植陽介(平成17) ※敬称略、()は卒業年。

# 年会費納入のお願い

会報発行などの同窓会の活動運営は、主に会員の皆様からの年会費でまかなわれております。正会員の皆様には、同封の振込用紙にて年会費(1,000円)を納入下さいますようお願い申し上げます。

なお、情報画像工学科卒業生には、在籍時の所属コースに関係なく、卒業生全員に送付いたしております。 年会費の納入にご協力下さいますようお願い申し上げます。